

2024-9 おかざき有機農業塾開催要項



目 的	有機農業に新たに取り組みたい方を対象に、有機農業の基礎知識と基本技術の習得を目標とし、有機農業の社会的意義や魅力等が学べる場として講義と実習を行う。		
日 時	①令和6年9月4日(水) ③令和6年10月2日(水) ⑤令和6年10月30日(水) ⑦令和6年11月27日(水) ⑨令和6年12月25日(水) ⑪令和7年1月29日(水) ⑬令和7年3月5日(水) ⑮令和7年4月2日(水) ⑰令和7年4月30日(水) ⑲令和7年5月28日(水) ⑳令和7年6月25日(水) ㉑令和7年7月23日(水) ㉒令和7年8月20日(水)	②令和6年9月18日(水) ④令和6年10月16日(水) ⑥令和6年11月13日(水) ⑧令和6年12月11日(水) ⑩令和7年1月15日(水) ⑫令和7年2月19日(水) ⑭令和7年3月19日(水) ⑯令和7年4月16日(水) ⑰令和7年5月14日(水) ⑱令和7年6月11日(水) ㉑令和7年7月9日(水) ㉒令和7年8月6日(水)	開催時間：9時～12時 内容：講義（前半） 実習（後半） ※天候等によって、講義と実習の時間が変わる場合もあります。 
場 所	岡崎市農業支援センター 研修室及び有機農業モデルほ場 (東阿知和町字乙カ 116 番地) TEL:0564-46-4490 FAX:0564-46-4465		
講 師	公益財団法人自然農法国際研究開発センター フェロー 岩石 真嗣 氏		
内 容	①有機農業の考え方 ②農地生態系を育てる「育土」 ③育土における植生と有機物の活用 ④堆肥の効果と作り方、使い方 ⑤ボカシと発酵液の特徴と使い方 ⑥緑肥作物の活用 ⑦天敵養生作物と有機農業の虫害防除 ⑧地下水位の管理と適応作物・植生誘導 ⑨自分でできる土壌の見方(1) ⑩自分でできる土壌の見方(2) ⑪耕うん（耕耘）と土壌水分 ⑫化学性から知る土壌の能力と診断 ⑬農地生態系を生かし、健康な野菜を栽培する ⑭地生態系を構築する作付け計画 ⑮育苗（キュウリ・ナス）と直まきの準備と適正化 ⑯栽培の準備「育土」の実際(1) ⑰栽培の準備「育土」の実際(2) ⑱栽培の準備「育土」の実際(3) ⑲有機栽培における病害防除理論と実際 ⑳有機栽培における虫害防除理論と実際 ㉑有機栽培における鳥獣害防除理論 ㉒多面的機能とその活用原則 ㉓自家採種入門（キュウリ） ㉔自家採種入門（トマト） ㉕有機穀物・野菜の品質の特徴		
対 象 受講資格	①市内在住、在勤の方、または移住を予定している方 ②農業経験3年以上ある方、または同程度以上の方		
注意事項	①実習について なるべく、全日程の参加をお願いいたします。 実習に必要な鎌、鍬、三角ホー、バケツ等の農機具類及び肥料、種苗等はセンターで準備しますが、長靴、手袋、帽子等については各自でご準備ください。 収穫物はお持ち帰りいただけます。 ②研修中の保険等について 受講中のけがや事故等は自己の責任において処理してください。市へ補償、賠償の請求はできません。必要に応じ、受講者ご自身で傷害保険等にご加入ください。 ③日時について 天候及びセンターの都合により変更する場合があります。		

